

なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和3年(2021年)10月 臨時号

市会議員の活動特集号 for Kids

今年度は、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で、例年、小学5・6年生を対象として夏休み期間中に開催していた「なごや 子ども市会」を中止しました。

そこで、今回の市会だよりは、「なごや 子ども市会」の様子をお知らせする代わりに、皆さんが住むまちの議会やその一員である市会議員の活動を知ってもらえるようにとの願いを込めて作成しました。ぜひ、読んでください。

※この物語に登場する市会議員のクスノキユリは架空の人物です。

市会議員 クスノキ ユリの活動

～コロナ禍の中での市会議員の活動～

★ 説明 ★

クスノキユリの名前の由来

名古屋市の木である「クスノキ」と、名古屋市の花である「ユリ」から名付けています。



クスノキ



ユリ

名古屋市会とは?

住みよいまちにするために、市民の代表者として議員が話し合いをするところを「議会」といい、名古屋市の議会は「名古屋市会」と呼ばれています。

名古屋市会と市長の関係

市会議員と市長は、どちらも市民の皆さんから選挙で選ばれますが、役割が違います。

市会議員で構成される名古屋市会は、市民のさまざまな意見が市の仕事に反映されるよう、市の方針などを最終的に決定したり、市の仕事が適切に行われているかをチェックします。

一方、市長は、市の仕事を実際に行う責任者として、名古屋市の決定に沿って仕事を進めていきます。

このように役割は違っても、両者がそれぞれ適切に役割を果たすことで、よりよい名古屋のまちの実現を目指す仕組みになっています。

市会議員の選挙

市会議員の選挙は、4年ごとに行われます。名古屋市では16の区ごとに選挙が行われ、全部で68人の市会議員が選ばれています。

市会議員を選ぶことのできる人は18歳以上の国民で市内に3カ月以上住んでいる人で、25歳以上になれば自分で市会議員に立候補できます。



わたしは、名古屋市会議員のクスノキユリ。選挙で選ばれた市民の代表として、名古屋が住みよいまちになるよう、精いっぱいがんばっています!



新型コロナウイルス感染症の影響でお店が開けず、収入が減っている…。



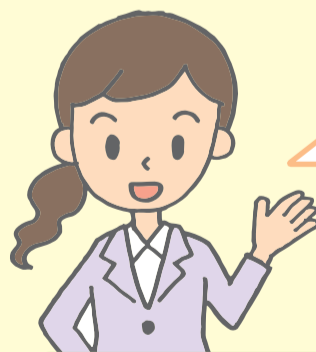
新型コロナウイルス感染症にかかったら、すぐに入院できるのだろうか…。



新型コロナウイルスのワクチンがなかなか打てないな…。



新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)で市民の皆さんが困っている…。市民の皆さんの生活を守るため、もっともっと名古屋市内にいろんな政策を提案しないと!



名古屋市会では、コロナ禍から市民の生命・健康や生活を守るため、名古屋市内に政策を提案したり、国に意見書を提出したりとさまざまな活動を行ってきました。

そこで、今回の市会だよりでは、コロナ禍での議会活動を、議会の仕組みとあわせて次の3つのトピックに分けて紹介します。

1 コロナ禍における議会の活動 ～議会開会中編～ → 2・3面

2 コロナ禍における議会の活動 ～議会閉会中編～ → 4面

3 コロナ禍における議会の活動 ～意見書提出編～ → 4面

★ 説明 ★

定例会と臨時会

名古屋市会には、年4回(2月・6月・9月・11月)定期的に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。

本会議は定例会と臨時会の期間中だけ行いますが、委員会は定例会や臨時会の期間に限らず、年間を通じて行っています。

本会議

議員が全員集まる会議を「本会議」といいます。

本会議は、市民のために市が何をするかを話し合い、最終的な決定を行う会議です。



市会議員の役割

市会議員は、日頃から市民意見の把握や、さまざまな課題についての調査・研究などを行い、名古屋市の一員として、主に以下のような役割を果たしています。

■ 予算を決めます

市民が納めた税金などのお金を、市民のためにどう使うか、その使い道と使う金額を計画した予算を決定します。

■ 条例を決めます

市の決まりである条例を新しく決めたり、すでにできている条例の内容を変えたりします。

■ 決算を認定します

決められた予算の使い方が正しかったかどうかを調べ、認めるか認めないかを決定します。

■ 市の仕事をチェックします

市の仕事が市民のために正しく行われているか、調査や検査をします。

■ 意見書を出します

市だけでは実現できないことについて、意見や要望を意見書という文書にして、国や県などに伝えます。

■ 請願や陳情を審査します

名古屋市会に対し、市の仕事に関する要望を文書にして提出された請願や陳情について、市にその実現を求めるかどうかを決めます。

■ 人事に関する選挙や同意を行います

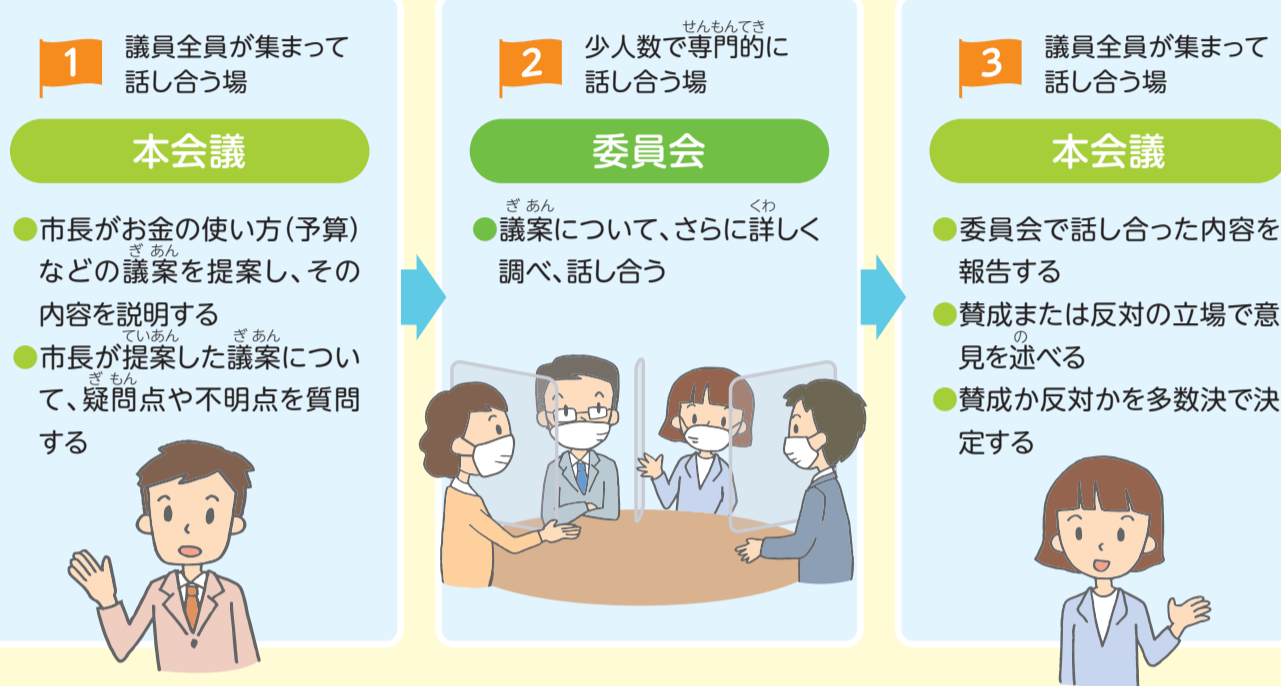
名古屋市の議長・副議長や選挙管理委員などを選挙したり、副市長・監査委員など、市の重要な役割を担う人の選任について同意するかどうかを決めます。

コロナ禍における議会の活動 ～議会開会中編～

定例会・臨時会での話し合いの流れ

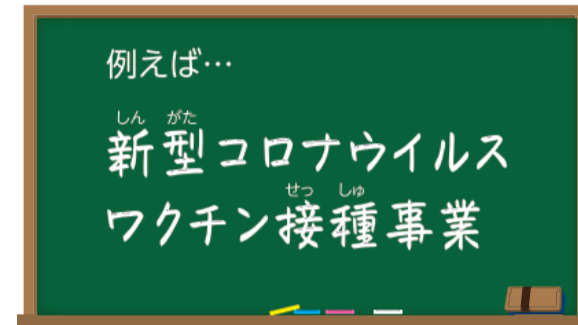
議会では、市が行う仕事とそれに必要なお金の使い方(予算)や、仕事をすすめていくのに必要なきまり(条例)が、市長から「議案」として提案されるので、市民の意見や要望などを踏まえて最終的な決定を行います。議案に提案されたテーマ一つ一つについて、できるだけよい答えが出せるように、「本会議」と「委員会」の2つの形式で話し合います。

*** 定例会・臨時会での話し合いの流れ ***

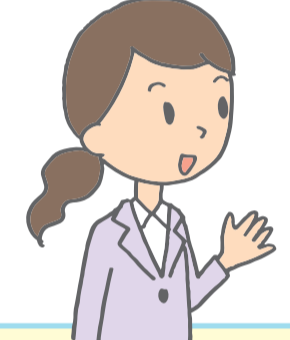


2 委員会では、提案された議案についてさらに詳しく調べて話し合います

名古屋市にはとても多くの仕事があるので、仕事を種類ごといくつかの部門に分けて、詳しく調べ、意見を出すなど十分に話し合います。このように少人数に分かれて専門的に話し合う会議を「委員会」といいます。委員会では、市長から提案された議案について、さらに詳しく調べ、話し合います。



コールセンター回線数の増設などワクチン接種を実施するために必要な費用の増額を求めます。



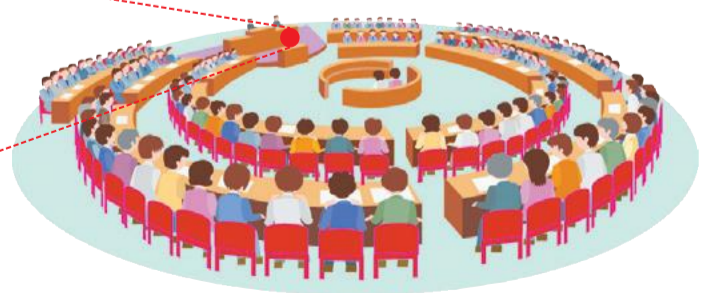
重症化のリスクが高い人が速やかにワクチン接種を受けられるよう、接種券の交付や医療機関との調整など至急対応してください。

※委員会の活動については、詳しくは4面をご覧ください。

1 本会議では市長や市の担当者に対し、市の仕事に関する質問を行います

本会議では、市長から提案された予算などの議案について説明を受けて質問を行います。また、提案された予算などの議案以外にも、さまざまな調査・研究をしてわかったことをもとに、市長や市の担当者に対し、市の仕事に関する質問を行います。質問では、市の仕事の問題点をはっきりさせるとともに、実現に向けた提案もしていきます。

- ★新型コロナウイルス感染症への基本方針を打ち出して早急な対応を!
- ★デマなどの不正確な情報に対してホームページ等で注意喚起を!



特別に緊急質問を実施! 令和2年2月定例会で、新型コロナウイルス感染症に関する名古屋市の対応について、緊急質問を行いました。これは、東海豪雨のあった平成12年以来、約20年ぶりのことです。

3 本会議で、委員会の報告を受けて多数決で賛成か反対が決定します

本会議では、委員会で話し合った内容について委員会の委員長から報告を受けます。委員会の報告を受けて、市長から提案された予算などの議案について賛成か反対か多数決で決定します。

全会一致(全員賛成)により、コロナ対策の予算を可決しました!



議場の様子 現在新型コロナウイルス感染症対策でアクリル板を設置しています

特別に臨時会を開催するなどコロナ対策の予算について熱心に議論! 新型コロナウイルス感染症への対応に関する予算などを速やかに審議するため令和2年4月に急ぎ臨時会を開催するなど、市長から提案されたコロナ対策の予算について熱心に議論しています。

全国初! 新型コロナ関連条例を可決! 令和2年2月定例会で、新型コロナウイルス感染症に特化した条例としては全国初となる「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を全市一丸となって防止するための条例」を審議し、可決しました。

コロナ禍における議会の活動 ~議会閉会中編~

名古屋市には、市の仕事を6つに分けて専門的に話し合う「常任委員会」と、特に必要な問題を調査するために設置した「特別委員会」があります。1つの委員会の人数は11人から12人で、議員全員がどれか一つの常任委員会と特別委員会に所属しています。

委員会は、議会が閉会している間も、市の仕事のチェックなどさまざまな活動を行っています。



委員会室の様子

現在新型コロナウイルス感染症対策でアクリル板を設置しています

私は、6つある常任委員会の中でも、保健所などの部門を担当する「財政福祉委員会」に所属しています。委員会では、担当の職員から詳しい説明や報告を受けて質問や要望を行い、市の仕事が正しく行われているかチェックしています。

実際の
名古屋市の
では…

全常任委員会で新型コロナウイルス感染症への対応状況を調査!

令和2年6月、すべての常任委員会で市役所各部門の新型コロナウイルス感染症への対応状況について調査を行いました。

★ 説明 ★

議会閉会中の委員会活動

議会が閉会している間も、委員会はさまざまな活動を行っています。

名古屋市の委員会は、約800ある全国の市議会の中でトップクラスの開催日数を誇っています。

■市の仕事のチェック

市が新しい仕事を行う場合などには、市からの詳しい説明や報告を受けて質問や要望を行い、市の仕事が正しく行われるようチェックします。

■施設などの調査

市が新しく施設をつくった場合などには、実際にその場所へ行き、その様子を調査します。

■先進都市の調査

今後のまちづくりの参考とするため、見本となるような都市を調査します。

■市民や会社などとの意見交換

市の仕事にかかわりの深い市民や会社などと市民の暮らしに関する問題などについて話し合いをしています。

■請願・陳情の審査

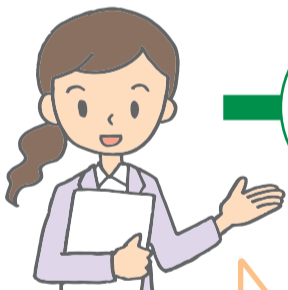
市会に文章で希望を伝える制度の1つである「請願・陳情」について市からの意見を聞くなどの審査を行い、必要がある場合には、市長などにその実現を求めます。

■要望活動

国、県や公共性の高い仕事をしている会社などに対して市民の希望がかなうように求めています。

コロナ禍における議会の活動 ~意見書提出編~

市民の暮らしに関する身近な問題でも、それが国などの仕事であるため、名古屋市だけでは解決できないことがあります。このような場合には、名古屋市の意見を法律で決められた「意見書」として国などに提出して、市民の希望がかなうよう求めていきます。

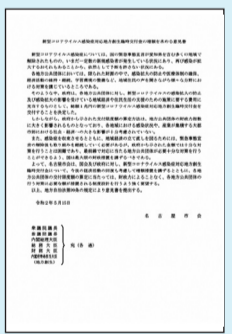


意見書

実際の
名古屋市の
では…

コロナ対策に関する意見書を国に提出!

令和2年5月、緊急に提出する必要があったため、議会の構成を決めるために開かれる5月臨時会では異例ですが「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」を可決し、国に提出しました。



新型コロナウイルス感染症対策に関する施策をすすめるため、国に対して意見書という形で要望を伝えます。

クスノキユリの活動はまだまだ続く!!

名古屋市ウェブサイト(市会情報)

名古屋市ウェブサイト(市会情報)では、名古屋市のさまざまな情報を掲載しています。



本会議・常任委員会・特別委員会は、インターネットで生中継と録画中継(過去1年分)を行っています。

視聴はこちら



これからも名古屋市が皆さんにとって住みよいまちとなるよう、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、さまざまな課題に取り組んでいきます。

名古屋市の活動については、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でも掲載していますので、ぜひご覧ください。



パソコン

スマートフォン

タブレット端末

